

第52回新潟地連定期大会

3年間余りカルテル問題の不当性を訴えてきた 公取委の冷徹な審決案に怒りを覚える

(宮沢執行委員長が決意表明)

2015年10月29日 第52回定期大会を新潟地連がガレッソホールで開きました。

10月29日、13時よりガレッソホールで第52回定期大会を開きました。

冒頭、宮沢勝正執行委員長は、昨日(28日)公正取引委員会の審判官が、カルテル問題で課徴金納付命令を不服とした15社の訴えを全面的に退け、審判請求を棄却した審決案を出したことを受け「この3年間余り全国の仲間の支援を受けながらカルテル問題の不当性を訴え闘ってきました。しかし、公取委がここまで審決を引き伸ばしたうえ、冷徹な審決案に対し怒りを覚える。事業者が高裁で闘うなら支援し闘っていきいたい」との決意表明をしました。来賓として全自交本部から伊藤中央執行委員長、中部地連犬飼委員長、その他、連合新潟はじめ各団体から激励のあいさつを受けました。経過報告の後、新津ハイタクしあわせタクシー労組、加藤代議員(新会社、代表取締役)より自主管理経営に向けた説明と全自交本部から大きな支援を受けたお礼と報告がありました。

海藤書記長から新年度運動方針が提案され、質疑応答では、特定地域指定はいまどうなっているのか。代行運転をあげ番の運転手にやらせているが違法ではないのか。カルテル問題で、事業者が高裁に行ったら支援に行くのか。悪質経営者が最賃逃れをしていると聞くが具体的にどんな方法なのか。等7名からの質問があり伊藤委員長からの助言を頂きました。

新年度運動方針案、予算案(臨時組合費の値上げ)が満場一致で承認されました。今大会は5年ぶりに女性代議員から議長が選出され、的確な議事運営で終了し代議員から大きな拍手を浴びました。